

【添付資料】出演者プロフィール

玉置浩二



1958 年生まれ。北海道出身のシンガーソングライター。1982 年バンド「安全地帯」としてデビュー。「ワインレッドの心」、「恋の予感」、「悲しみにさよなら」など 80 年代の音楽シーンを席巻。ソロ活動で作詞も手がけ始め、「田園」「メロディー」をはじめとする多くのヒットを生み出す。2012 年には、オリジナルレーベル「SALTMODERATE」を発足。安全地帯とソロの活動を並行して行いながら、2014 年、7 年ぶりとなるオリジナル・ソロ・アルバム『GOLD』、そして同じ時代を共有してきたアーティストの名曲を歌ったアルバム『群像の星』をリリース。2015 年・2016 年、国内外の主要オーケストラと共演するビルボードクラシック公演を実施。2016 年 6 月、バルカン特別編成交響楽団に管弦楽作品「歓喜の歌」を謹呈。2017 年、ソロデビュー 30 周年そして安全地帯デビュー 35 周年というダブルアニバーサリーイヤーでは、日本武道館で開催した安全地帯 35 周年記念ライブでは 2 日間で 2 万 5000 人の動員を記録した。2018 年・2019 年もオーケストラ公演、ソロツアーと精力的に活動。

2019 年 11 月安全地帯として約 30 年ぶりのスタジアムライブ「安全地帯 IN 甲子園球場 さよならゲーム」を敢行、3 万 8000 人を動員し、圧倒的なボーカル力で観客へ感動をもたらした。2020 年 12 月、6 年ぶりとなるニューアルバム『Chocolate cosmos』リリース。第 71 回 NHK 紅白歌合戦に 24 年ぶりの出場を果たし、オーケストラとともに披露した「田園」は、熱い感動とともに全国で大きな反響を呼んだ。2022 年にはソロデビュー 35 周年そして安全地帯デビュー 40 周年を迎えた。

公式サイト <https://saltmoderate.com/>

大友直人（指揮）



©Rowland Kirishima

桐朋学園大学在学中に NHK 交響楽団を指揮してデビュー以来、日本の音楽界をリードし続けている。

これまでに日本フィルハーモニー交響楽団正指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団専属指揮者、東京交響楽団常任指揮者、京都市交響楽団常任指揮者、群馬交響楽団音楽監督を歴任。現在は東京交響楽団名誉客演指揮者、京都市交響楽団桂冠指揮者、琉球交響楽団音楽監督、高崎芸術劇場芸術監督、瀬戸フィルハーモニー交響楽団ミュージックアドバイザー。東京文化会館の初代音楽監督として東京音楽コンクールの基盤を築いたほか、海外オーケストラからも度々招かれており、ハワイ交響楽団には 20 年以上にわたり定期的に招かれている。

小澤征爾、森正、秋山和慶、尾高忠明、岡部守弘らに学ぶ。NHK 交響楽団指揮研究員時代には W.サヴァリッシュ、G.ヴァント、F.ライトナー、H.ブロムシュテット、H.シュタインらに学び、タングルウッド・ミュージックセンターでは L.バーンスタイン、A.プレヴィン、I.マルケヴィチからも指導を受けた。

大阪芸術大学教授、東邦音楽大学特任教授。京都市立芸術大学、洗足学園大学各客員教授。

東京フィルハーモニー交響楽団

1911 年創立。日本で最も長い歴史をもち、メンバー約 160 名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。定期演奏会や「午後のコンサート」、オペラ・バレエ演奏、NHK 他における放送演奏の他、各地での訪問コンサートや海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。国民的番組『NHK 紅白歌合戦』『クラシック TV』のほか 2020～21 年には『情熱大陸』『BS1 スペシャル』などのドキュメンタリー番組にも登場。1989 年より Bunkamura オーチャードホールとフランチャイズ契約を締結。文京区、千葉市、軽井沢町、長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的・創造的な文化交流を行っている。公式 Web サイト：<https://www.tpo.or.jp/>